

だいのほら

春号
2026

特集

救急科 「東北労災病院の救急医療について」

特集 救急科 「東北労災病院の救急医療について」	2
人工関節手術ロボットのご紹介	4
部署紹介 救急外来	6
健康コラム 「救急外来の一日」	7
栄養コラム 「春が旬の食材を食べましょう」	7
information 「院内ファミリーマート取り扱い商品のご紹介」	8



ご自由にお取りください



東北労災病院理念

—患者さんの立場に立った、満足と納得をして頂ける医療の実践—



特集

東北労災病院の救急医療について



東北労災病院の救急医療体制についてご紹介します！

1 救急外来ってどんなところ？



当院は仙台市中心部に位置しており、病床数538床、標榜診療科26科の大きな病院ですが、救命救急センターを持っていないので2次救急病院という位置付けになります。

2次救急病院の役割は入院や緊急手術が必要な重症患者に対応する事で、肺炎や、胸痛、腹痛、骨折などの外傷が主な対象の疾患になります。2008年の救急車受け入れ台数は1,552台で以前はあまり救急医療に積極的ではなかったのですが、2019年に救急科を立ち上げてから救急体制の整備を進めて、仙台市救命コール事業参加や宮城県ドクターヘリ事業参加、救急科専門医指定施設認定、院内救急の体制整備、院内に向けた救急教育、夜間のバックアップ体制の充実等の改革を行い、救急車の受け入れ台数は2022年度の3,089台から2023年度は4,355台と増加し今年度は4,560台を予想しております。2008年度は仙台市内の病院救急車受け入れランキングで11位だったのですが2023年度以降は4位となりました。

救急外来の体制として平日日中は救急専門医＋大学派遣医（週2.5日）＋研修医1名、診療看護師1名、看護師3名、夜間休日は外科系当直医1名、内科系当直医1名、研修医2名、看護師2名で対応しています。

夜間休日においては腹痛、胸痛、外傷については基本的に断らないという大方針を定め、呼吸器/循環器、消化器、整形の3領域については連日オンコール体制を構築し救急車の受入を行っています。

2023年度には働き方改革への対応として夜間の勤務形態を「時間外の宿直勤務」から「時間内の通常勤務（夜勤）」に変更して患者さんへの影響が少なくなるようにしました。

2024年度からは診療看護師、病院救命士の救急外来への配属といった新たな取り組みも開始してより多くの患者さんに対応できるように改革を進めているところです。



2 夜間・休日の急な体調不良、どうする？



- ・意識がない、けいれんが止まらない
- ・強い胸の痛み
- ・突然の激しい頭痛
- ・ろれつが回らない・片側の手足が動かない
- ・呼吸が苦しい
- ・大量の出血
- ・高いところから落ちた、交通事故で動けない場合



これらの症状は命にかかわる危険性があるのですぐ☎「119」救急車を呼んで下さい。救急隊が判断して当院を含め適切な病院に搬送してくれます。



- ・39℃以上の高熱が続いている
- ・強い腹痛や嘔吐が止まらない
- ・尿が出ない

このような症状がある場合、特に当院で手術後の方や外来通院中の方は重症である可能性があるため夜間であっても救急外来に連絡して下さい。

それ以外の症状で、救急車を呼んだ方がいいか、朝まで様子を見て良いか迷った場合は☎「#7119」に連絡してください。看護師が電話で適切な助言をしてくれます。

また、残念ながら当院は夜間・休日に脳神経外科、産婦人科、小児科（輪番日以外）の対応が難しいです。このような疾患が疑われる場合は「#7119」などに相談してみてください。

3 「万が一」に備えて今日からできること



『人生会議』という言葉があります。正式にはACP（アドバンス・ケア・プランニング）と言いますが、厚生労働省が広めている取り組みで「もしものとき、どんな医療をうけたいか」を元気なうちに家族ではなしあっておくことです。当院でも搬送患者の多くが75歳以上の後期高齢者となっているので、救急搬送された際に敗血症など集中治療を要する瀕死の状態での胸骨圧迫や気管挿管などの判断を短時間で迫られることがあります。事前に話しあっておくことで、ご本人・ご家族が望まない治療を防ぐことにつながります。

厚生労働省、医師会などのホームページなどを参考にしてお話してみてください。

4 地域みなさんへ



当院は2025年に正式に当地での継続運営が決定しました。ハード面、ソフト面でまだまだ改善すべき点がありますが職員一同、力を合わせて「医の原点」である地域の皆様の救急医療を守るため努力を続けてまいります。

人工股関節センター・人工膝関節センター

人工関節手術ロボットのご紹介

2機種的人工関節手術支援ロボットを導入

幅広い整形外科疾患に安全な手術を実施しています！



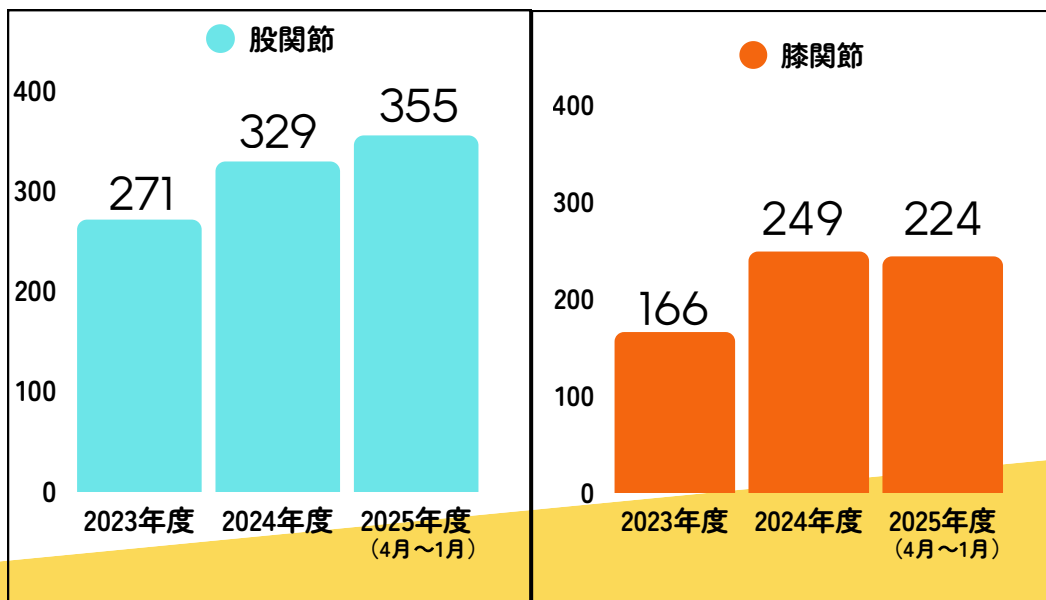
ROSA® (2023年10月稼働)



Mako® (2025年8月稼働)

人工関節置換術手術件数推移

(2023年度～2025年度：2025年度は1月までの実績)



当院の特色

- ▽ 当院では、股関節センター（2023年7月開設）、膝関節センター（2024年6月開設）において、股関節、膝関節に関する幅広い疾患について、総合的かつ高度専門的な診療を実施しております。
- ▽ 股関節・膝関節の疾患について、それぞれを専門領域とする医師が、疾患の診断、手術、術後早期の日常生活への復帰に向けた診療を担当しています。特に手術に関しては、手術支援ロボットを活用して、安全かつ高精度に人工関節手術などの手術を実施しております。
- ▽ 当院では、2023年10月に当時、宮城県内では初となるジンマー社製ROSAシステムを稼働したことに加え、2025年8月に、ストライカー社製Makoシステムを稼働しています。この2つの機種を有する医療機関は、全国的にも少なく、2026年1月現在で8施設となっています。
- ▽ 手術件数は、左の表のとおり、年を追って増加しており、股関節は、2025年度は1月時点で既に前年度を上回る手術件数、膝関節も前年度に迫る治療件数となっております。

- ▽ 当院ホームページで関連情報をご紹介しておりますので是非ご参照ください。



東北労災病院
整形外科のご紹介



股関節センター・
膝関節センターのご紹介

- ▽ 日本最大級の医療従事者専用サイトm3.com <エムスリー>に股関節センター長と膝関節センター長のインタビューが掲載されました！



掲載記事 第1回



掲載記事 第2回





部署のご紹介

今回は救急外来をご紹介します！

広報誌「だいのほら」をご覧のみなさま、こんにちは。今回は救急外来をご紹介します。

救急外来は、医師、看護師、救急救命士をメンバーとし、突然の体調不良や重い症状、命に関わる急な病気やけがに24時間体制で対応しています。救急車で搬送されてくる患者さんは、急に意思疎通が取れなくなったり、自分で動けなくなったりするため、到着時にパニックになっている方が多くいます。そのため、私たち看護師は、患者さんとご家族の不安を支えるため「大丈夫ですよ」「今こういう状況です」という声かけを大切に日々看護しています。そして、次にどんな患者さんがどんな病気や症状で来るか、詳しい情報がわからないため、常に準備と観察力、判断力を持ち、緊急性の高い処置・検査などに医師・救急隊・検査部門・病棟と連携しチーム医療を提供しています。

仙台市も高齢者世帯、高齢独居、介護困窮、育児困窮等が増加し、救急外来に来院されるぎりぎりまで頑張ってこられた患者さんが増加しています。軽症で帰宅することになっても、帰宅後の生活が安心して送れるように地域包括ケアセンター、ケアマネジャーや訪問看護師、施設などと連携することもあります。

救急外来は、重症の方を優先して診療するため、症状によっては順番が前後し、待ち時間が長くなることをお許しく下さい。軽い風邪症状や長く続く慢性的な症状は、かかりつけ医や地域の医療機関の受診をお勧めします。





救急外来の朝は、夜間搬送された患者さんの状態を引き継ぎ、医師、看護師、救急救命士でカンファレンスすることから始まります。そうしているうちに、救急隊から電話で受け入れの依頼が入ります。心肺停止、脳卒中、心筋梗塞などは時間との勝負です。診療看護師、救急救命士が呼吸状態・意識・体温・脈拍・血圧、症状などから緊急度を判断し、医師との受け入れ調整を行います。また、診察の介助（血液検査、点滴、心電図検査、レントゲン検査の搬送）を行いながら、次の救急車の受け入れ準備を行います。

お昼頃にかけては、近隣クリニックからの緊急紹介で来院される方が増え、発熱・体動困難・腹痛・外傷など幅広い症状に対応します。

夕方は最も混雑する時間帯で、症状の悪化を心配して来院される方が多くなります。

夜間は比較的落ち着くこともありますが、飲酒トラブル、重症の救急搬送が続くこともあり、緊張感は途切れません。少人数での対応になるため、チームワークがより重要になります。

救急外来は、地域の命を支えるために、いつでも必要な医療が提供できるようにスタッフ全員が連携して活動を続けています。



菜の花

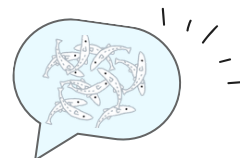
ビタミンCやEなどの抗酸化成分が豊富で、栄養価の高い緑黄色野菜です。そのため季節の変わり目の体調管理に役立ちます。お店で選ぶ時は、つぼみが固く締まり、茎の切り口がみずみずしいものを選ぶのがポイントで、

つぼみのうちが食べ頃です。ほろ苦さが特徴ですが、カルシウムや蛋白質を含むしらすと合わせて食べると味のバランスがよく、栄養アップできます。春を元気に過ごすために取り入れてはいかがでしょうか。



*** しらすと一緒に食べて栄養アップ！おすすめ一品 ***

菜の花としらすの炒めもの（オリーブ油やゴマ油でさっと炒めましょう）



information

院内ファミリーマート 取り扱い商品のご紹介

当院のファミリーマートでは、飲食料品や日用雑貨の他、病院特有商品を取り扱っています。

ガーゼや腹帯、大人用おむつなどの医療衛生用品の他、介護用品に至るまで入院生活をサポートする商品を揃えております。



店に入っすぐの棚です！

ぜひご利用ください！



交通アクセス



バスをご利用の場合

仙台駅バスプール2番3番乗り場
宮城大学・宮城学院前方面行、
台原入口下車



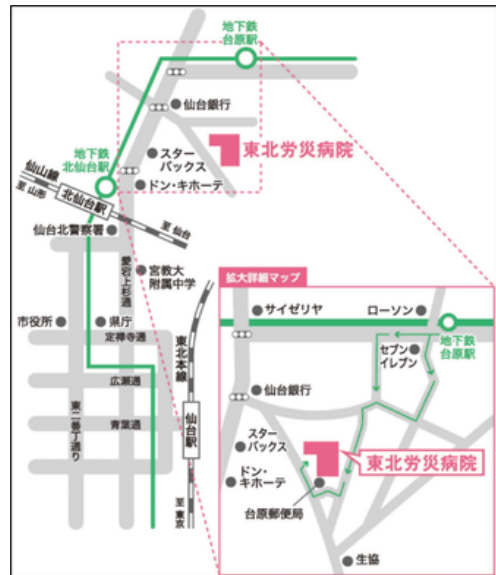
電車をご利用の場合

JR仙山線 北仙台駅下車
徒歩10分



地下鉄をご利用の場合

台原駅下車、徒歩10分



だいのはら

東北労災病院広報誌 「だいのはら」

2026年4月発行



独立行政法人労働者健康安全機構

東北労災病院

〒981-8563 仙台市青葉区台原4丁目3番21号

TEL : 022-275-1111

URL : <https://www.tohokuh.johas.go.jp>

